白子川源流の水辺が危機に！

白子川源流部では大きな問題が持ち上がりました。河川整備計画の大きな変更です。それは、1 時間当たり 75 ミリの集中豪雨に備えて巨大な調節池を大泉井頭公園内に建設するという計画。以下、「変更案」の概要、当会の動き、議員への働きかけによる対応等の状況を報告します。

白子川河川整備計画「変更案」概要

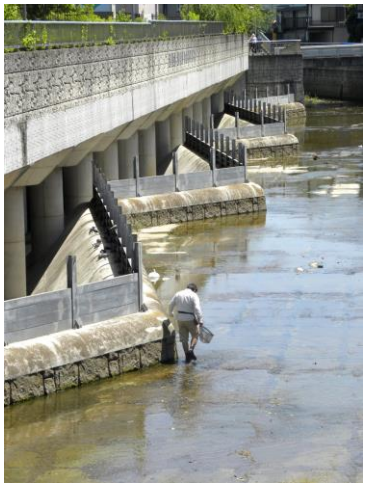
●白子川の河川整備計画は、1 時間当たり 50 ミリ規模の降雨により発生する洪水対策として平成 18 年に策定されていましたが、平成 29 年 9 月に、1 時間当たり 75 ミリ対応の整備計画原案が発表されました。

●変更案は予想外の内容で、火の橋～七福橋の間の大泉井頭公園内に 254,000 ㎥にも及ぶ巨大な調節池を建設するというもの。計画では数字しか示されていませんが、会の想定では、「地下箱式調節池」を源流の東側に作るものとみています。ちなみに、大規模な城北中央公園調節池（図）も比丘尼橋下流調節池（写真）も「箱式」です。

●254,000 ㎥もの調節池とは、数字で単純化するとタテ 100m×ヨコ 100m、深さ 25mの膨大な水を入れる巨大コンクリートBOX。これが建設されたら源流の水辺環境は壊滅です!!

●私たちは、計画の見直しを求めて動き出しました。

城北中央公園地下調節池（箱式）。深さ 30m で石神井川の水を溜める。上部は公園



白子川の比丘尼橋の下流にある地下調節池（箱式）。豪雨時に白子川から流れ込む。深さ 23.5m。上部は公園